

平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名
石川県

行 事 名 称	小松天満宮 消防総合訓練
実施期間・日時	平成 30 年 1 月 21 日（日）9：30～10：00
実 施 場 所	小松天満宮（石川県小松市天神町 1 番地）
主 催 者	小松市消防本部 中消防署

■実施内容

訓練の想定

付近民が焚き火の不始末により、天満宮本殿に飛び火し炎上、関係者が発見し 119 番通報を行う一方、近隣の町民（奉賛会）により初期消火を実施。火勢は拡大傾向にあり、消防隊により火災防御活動を実施する。

訓練の内容

天満宮奉賛会及び近隣町内会役員による初期消火訓練（自衛消防訓練）、その後、火勢拡大による消防隊（消防団含む）計 7 台による火災防御活動を実施する。

参加者及び役割分担

神社宮司	（1 名）：	重要物品の搬出
奉賛会・町内会	（8 名）：	119 番通報、初期消火（屋外消火栓、放水銃）
消防設備関係業者	（1 名）：	ニッタン（株） 施設消防資機材安全管理
中消防署	（19 名）：	全体総括、放水訓練
消防団	（23 名）：	放水訓練、講評

特に工夫した点

昨年（平成 29 年）11 月に、梯川浮島化工事が完了し、同建物での火災時での対応が検討される中、半ブラインド訓練を採用し、建物・水利環境に応じた戦術を各隊で考えるように計画した。

問題点・課題

実際に火災が発生した場合は消火栓を使用するが、かなりの距離が必要で、自然水利からの放水体制も考慮する必要があるように感じた。また、梯川に浮いたようになっているため、付近への延焼の恐れは天候や風向きによっては、絶対ないとは言いきれないため、浮島外周（見学スペース→車両乗り入れは緊急時可能）からの防御体制も考えられるが、梯川水面までの高さが障害となることも課題である。

その他

近隣町内会役員は、国の文化施設があることを十分理解しており、各町内の一体化が訓練を通じて見られた。これを町内役員のみならず、町民への意識向上を目指すため、訓練を継続していくことが重要である。

訓練風景



自衛消防訓練（奉賛会・町内会）



消防隊による放水訓練